



茨城ワイズメンズクラブ  
2019年度~2020年度  
1月報 Vor.137

強調月間テーマ  
IBC/DBC

# THE Y'S MEN'S CLUB OF IBARAKI

CHARTERED 2006



国際会長主題 : より良い明日のために今日を築く  
アジア太平洋地域会長主題 : Action  
東日本区理事主題 : 勇気ある変革、愛のある行動  
関東東部部長方針 : “紡ぐ” ワイズのこころ  
茨城ワイズ会長主題 : 「みんな～、リーダーになろうよ～」

## <1月例会プログラム>

と き: 2020年1月10日(金)  
19:00~21:00

ところ: 筑波学園教会 1階

司会: 熊谷 光彦

開会挨拶と点鐘: 熊谷 光彦

ワイズソング:

ワイズ信条:

- 1、自分を愛するように  
隣人(りんじん)を愛そう
- 1、青少年のために YMCA に尽くそう
- 1、世界的視野をもって  
国際親善をはかろう
- 1、義務を果たしてこそ  
権利が生ずることをさとうろう
- 1、会合には出席第一  
社会には奉仕第一を旨としよう

今月の聖句・食前感謝:

協議 新年からの茨城クラブの展望

ハッピーバースデー&

おめでとう結婚記念日:

スマイル:

茨城YMCA報告: 大澤 篤人

閉会挨拶と点鐘: 熊谷 光彦

## ☆今月の聖句☆

目を覚ましていなさい。強く信仰に立ちなさい。男らしく、強くありなさい。いっさいのことを愛をもって行いなさい。

コリント人への手紙 第一  
16章 13節~14節(新改訳聖書)

## ★巻頭言★ 『新しい年に思うこと』

茨城 YMCA 総主事 宮田康男

明けましておめでとうございます。皆様、ご家族共々に、お元気で新年をお迎えのこととお慶びを申し上げます。

歴史を積み重ね、2020年は茨城ワイズメンズクラブの発会式から15年になります。実際にチャーターをしたのは翌年2006年3月でしたが、その前年にワイズメンズクラブとは?の学習会や、お祈りの会を開催していました。そして今、新しい年を迎えた私たちは、新しい目標を立てる時期かとも思います。

よく、他のワイズメンズクラブの新年例会ではひとり一人のワイズメンの新年の抱負をみんなで伺うことがありますが、茨城ワイズメンの方々の「一年の抱負」も興味があります。

特に今年は、「チャリティ・サイクリング」という画期的なプログラムが始まるかもしれない、歴史的な年となるかも知れませんので、会長の抱負には目が離せません。

茨城YMCAも今年は認可保育所・牛久オリーブ保育園の開園が4月にあります。自前の建物がまた増えます。急激に大きくなり、正職員、専任講師、パートタイムのスタッフまで合わせると、100名を数えるようになりました。そこで、2024年の創立30周年に向けた中期計画も策定したいと考えています。同時に、大きくなった牛久センターにも茨城・牛久ワイズの誕生は...夢でしょうか? 新年の夢の一端として、5年以内に茨城ワイズが子どものワイズを誕生させるなどの夢はお屠蘇気分と思われそうです。

最初の茨城ワイズメンズクラブを作ろう!の時も、夢物語のようでしたが実現し、その結果、多くのプログラムが生まれました。チャリティゴルフやチャリティランも茨城ワイズメンズの協力がなければ、実現しなかったものだったでしょう。

若い学生ボランティアや社会人ボランティアの学びのサポートもさることながら、今年も茨城YMCAと茨城ワイズメンズクラブは社会の課題を見つけ出し、社会を動かしていく車の両輪として、一致して運動を進めてまいりましょう。よろしくお願いいたします。

## 【茨城ワイズ 会計・事務報告】

今月はみなさまに会費の前納にご協力いただき、減少傾向が続いていた残高にある程度の回復がみられました。

ただ、年間トータルでは従前並みの支出を賄うことがだんだん難しくなってきました。現在役員会にて、会計バランスの正常化に向けた協議を実施しており、1月の例会にて会員みなさまの承認をいただき、食事代などの改定などについて周知させていただきます。

## 11-12月会計報告

11月8日時点繰り越し	19,030
チャリティーラン参加費	12,000
まつりつくば分配金	20,000
スマイル・食事代	6,970
会費	100,000
ワイズ記念品(記念日の方に進呈するワイズ名入りボールペン100本)	▲28,080
各種献金	▲2,000
例会食事材料費	▲2,000
12月8日残高	109,170

◆ワイズの目的の中に『YMCAの活動を支援する』となっております。その1つとしてYMCA維持会員になっていただいております。まだ維持会員登録をされていない方は、大澤までお申し出ください。YMCAは会員団体であり、YMCAは会員に支えられ地域に根ざした活動を展開しております。維持会員とは、YMCAの使命に賛同し、その運動に主体的に参加し、YMCAの維持、発展に寄与することを願う会員です。

## 12月例会報告

出席者：会員5名(熊谷、片山、柳瀬、宮田、金子)、メネット：0名、スタッフ：2名、リーダー：0名、ゲスト：1名、出席総数数：8名、在籍者会員数9名、会員出席率：55%

## \*茨城クラブの現況(2020/1/1時点)

会長：熊谷 副会長：片山・柳瀬

書記：村田 会計：稲本

会員：石橋・金子・宮田

合計8名

2018/12,2019/6,2019/12に1名ずつ退会、2020年春までに1名入会予定

## 【茨城YMCA報告】

大澤 篤人

## 12月の予定

- 1-4日北関東スキーディレクタートレーニング
- 2日 早天祈祷会
- 2日 主任会
- 4日 幼保園監査
- 7-9日 北関東スキーリーダートレーニング
- 10日未就学児親子参加クラブ「こひつじクラブ」
- 13日 みどりのセンタークリスマス祝会
- 14日障がい児者自立支援活動「たんぼぼクラブ」
- 14日中高生デイキャンプクラブ「ユースクラブ」
- 14日 小学生クリスマス祝会
- 15日 冬キャンプ顔合わせ会
- 20日 幼保園・オリーブ保育園クリスマス祝会
- 24日 クリスマスイブ
- 25日 クリスマス
- 25-1/7 児童クラブウィンタースクール
- 27-30日 冬スキーキャンプ

## 1月の予定

- 4日 事務所引っ越し
- 9日 主任会
- 11-13日 ファミリースキーキャンプ
- 14日 未就学児親子参加クラブ「こひつじクラブ」
- 18日 小学生デイキャンプクラブ「つくわいクラブ」
- 21日 職員礼拝・職員会
- 24-25日 全国YMCA教育・保育部会
- 25-26日 全国YMCAアフタースクール部会
- 27-28日 主任保育士研修
- 28日 未就学児親子参加クラブ「こひつじクラブ」
- 29-30日 東日本職員研修
- 2月1日 全体職員会・懇親会

\*ボランティアリーダーに参加してくれる学生が増えてきました！

## 【茨城ワイズ 12月例会報告】

12月例会は、冷え込みも厳しくなってきました6日夜の開催となりました。ワイズメンの参加は5名、スタッフやゲストを含め8名での会となりました。来年以降の入会を予定しておられます飯田さまもゲストとして参加くださいました。

いつものカレーに加え、ポテトサラダなどを加えささやかながら祝膳といたしました。また、持ち寄りによるオークションなども開催いたしました。

卓話の代わりに、片山ワイズによりクリスマスにちなんだお話をさせていただきました。

以下要旨をまとめております。

- ・クリスマスの発祥（主イエスの生誕）
- ・片山さんご自身の子供の頃のクリスマスの思い出（キリスト者の一家としての12月の風景）
- ・15年前に仕事でホーチミンに滞在していた際のクリスマスの風景
- ・クリスマスにちなんだ印象的な物語である『靴屋のマルチン』に絡めて、作者のトルストイの生涯について
- ・『靴屋のマルチン』に出てくる一説「お前たちは、わたしが飢えていたときに食べさせ、のどが渇いていたときに飲ませ、旅をしていたときに宿を貸し、裸のときに着せ、病気のときに見舞い、牢にいたときに訪ねてくれたからだ。」わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである（マタイ25章35節～40節抜粋）。について

また、最後にお話しくださった部分については、できるかぎり正確に表現たく、そのまま抜粋して掲載させていただきます。

『さて、YMCAの活動も同様に障害のある方や社会的弱者も含めた、全ての青少年の健全な成長のためのプログラムが行われています。このプログラムには、キリスト者とそうでない方にも等しく復活のイエスさまが共におられるのだと思います。ですから、キリスト者もそうでない方もイエスさまに気づかないまま、「小さい者たちのひとり」を意識してプログラムを行うときに、だれもが主により恵みを受け、同時に主の栄光を表す働き人として用いられているのだと感じています。

それゆえ、多くの子供たちや父兄が、そしてリーダーたちが皆、理由は知らずともYMCAに魅力を感じプログラムへの参加を希望されているのでしよう。

このYMCAの活動をサポートしているのが、我々ワイズです。ワイズも、キリスト者とそうでない方がいますが、同じ思いでYMCAを支えています。

そして、このワイズの働きにおいても、主が共におられ、働いてくださる。ゆえに、サポートをする側も同様に恵みを受け、主の働き人として用いられているのだと確信しています。

ですから、プログラムの中で、またサポートをする中で、主が共におられることに意識をできればと思います。そして、それは良い時だけではなく、うまくいかないときでも、同様に主のご臨在を覚えられたらと願っています。

これと同じ思いで、活動をされていたのが、一昨日の12/4、アフガニスタンで銃により殺された中村哲医師だと思えます。先生は、福岡のバプテスト教会で洗礼を受けた方です。

中村哲先生は、アフガニスタンの人々のために、命をかけて医者として、また技術者のように安全な水を確保するために水道の建設を行うなど、アフガニスタンのために人力を尽くされてきた方でした。

なぜ、先生は、そこまで尽くされたのか。それは、アフガンの人々の中にイエスさまの姿を見て、主がともに働いていることを実感していたのと思うのです。

先生の自伝があり、タイトルは『天、共に在り』というものです。これは、本日の聖書箇所のマタイ1/23からの引用です。

『見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。』この名は、『神は我々と共におられる』という意味である。

中村哲先生は、この「神は我々と共におられる」という言葉こそ「聖書の語る神髄」だと考え、アフガンにスタンで約35年間活動をされてこられました。72歳でした。受胎告知のみ言葉に導かれ働いた先生が、アドベントに銃弾を受け、天に引き上げられたというのも、主の御計画であったのでしょうか。

イエスさまの誕生を記念して祝うクリスマスを迎えるにあたり、全ての国の人たちが、全ての国の人たちのなかに、イエスさまの姿を見ることができたら、また、職場や家庭で、社会やYMCAやワイズ、そして教会など、すべての活動のなかで、互いに「主が私たちとともにおられる」ということを覚えることができたのなら、どんなに幸せなことでしょうか。祈ります。

（今回は写真がございません。ご了承ください）



【野外活動委員会について 報告】

直接茨城クラブの活動として行われているものとは異なりますが、ワイズのメンバー、社会人ボランティアリーダー（もともと学生時に茨城 YMCA にて学生リーダーを務めた方々）、YMCA スタッフによる標記の委員会活動について、昨年より継続して今年も回を重ねてまいりました。

茨城クラブのメンバーとは少し世代も異なりますが、茨城 YMCA で育った学生ボランティアリーダーが、社会人になっても YMCA の活動に継続して思いを寄せ、YMCA 以外の場所で社会人として蓄積した経験知見を還元する場として、またワイズメンズクラブの活動の新たな派生形としても、これからも継続していきたいと考えております。

【編集後記】

2020 年の年が明けました。ついにオリンピックイヤーの到来となります。

オリンピックイヤーといえば、去年の大河ドラマ『いだてん』は低調な視聴率とは裏腹に素晴らしい作品で、毎回楽しみに視聴しておりました。

明治から昭和まで、近現代史のいろんな要素（女性の社会進出、外国人差別、戦後処理を含めた国際問題などなど）を真正面から捉えたまさに名作であったと感じております。

出演者の不祥事等に揺れることもありましたが、最後に至って伏線を回収しきる素晴らしい脚本でした。

今年のオリンピック・パラリンピックも、この作品に負けない素晴らしい、そして後世にレガシーを残すイベントであってほしいものと祈っております。

<12 月は西日本方面への出張が多く、いくつかの写真を以下掲載いたします>



広島焼 &  
中州屋台のもつ鍋



博多とんこつ  
ラーメン &  
復興の進む熊本城

